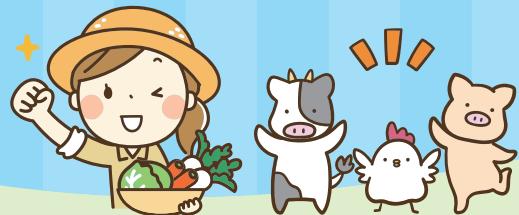


毎日一生懸命頑張っている組合員さんにお聞きしました。

①家族構成 ②経営内容



益城町

自分が責任持てる仕事

まつおか ひでのり なおみ
松岡 秀典さん(38歳)・妻・直美さん(40歳)

妻の実家が農業をしていましたが、後継者がいなかつたので私たち夫婦があとを継ぎました。現在、就農7年目です。

農業高校を卒業後、介護職に就いていました。そこで知り合った妻と将来は自分たちで責任を持てる仕事をしようと話し合い、妻の実家を継ぐことに決めました。妻の父に相談したところ快く受け入れてくれました。

キュウリの後作で、スナップエンドウを始めました。年間を通して安定した収入を得られるよう市場価格の変動を注視していきます。

明るい話題として、我が家に次女が誕生して4人家族になりました。資材・肥料などの高騰があり、當農していくうえでも厳しい状況ですが、これからも夫婦一人三脚で歩んでいきます。



①妻と子ども2人の4人家族
②水稻56ha、キュウリ35ha、
スナップエンドウ35ha



①妻と子ども3人の5人家族
②ナシ75ha、ブドウ50ha

荒尾市

廃棄ナシで加工品

つるた けんりょう
鶴田 賢了さん(69歳)

大学の農学部を卒業し、11年間流通関係の会社で働いていました。その後、33歳のときに父のあとを継ぐため脱サラして就農。現在では、ナシをメインにブドウも栽培しています。

売り物にならなくなつた廃棄ナシを使った加工品作りにも力を入れています。そのために韓国で研修も受けました。そこでの経験を生かしてナシドレッシングや焼き肉のタレなどを作っています。これからも、「鶴田農園」でしか食べられないスイーツや加工品を作つて行きたいですね。

今後は、ブドウの栽培にも力を入れ、収益の増加と経営の安定を目指していきます。全国から届くお客様からの声に耳を傾け、農作物の生産、加工、販売にと日々頑張っています。



①祖母と両親との4人家族
②水稻145ha、葉タバコ200ha、WCS264ha、
ブロッコリー 440ha

天草市

技術受け継ぎ発展目指す

なるかわ ゆうだい
鳴川 湧大さん(22歳)

高校生のとき、父のあとを継ぎたいと思い、熊本県立農業大学校へ進学しました。卒業後に就農して2年目です。

祖父の代から栽培している葉タバコと水稻に加え、ブロッコリーの栽培にも挑戦しています。

農業は天候に影響されることが多い、まだまだ勉強することもたくさんあります。その苦労の分、自分が一から育てた農産物を販売する喜びは格別です。

最近は、肥料価格の高騰など厳しい情勢です。より高品質の作物を作るため、父たちが培ってきた栽培技術を受け継ぎ、さらに発展させたいと日々頑張っています。

2022年9月に法人を設立して代表となりました。これからは経営面も考えながら規模拡大と品質向上を目指していきます。



おじゃましまへす!!

ゆとりある農業を目指す

山鹿市

なかい 中井 みのる 稔さん(36歳)

実家が農家で、祖父の代から約30年続くライスセンターを経営していたので、高校を卒業後、あとを継ぎました。

4年前に法人化し、義理の弟とライスセンターを経営しながら、水稻や麦を栽培しています。また、葉タバコとWCS用稻を栽培する両親の手伝いもしています。

地域の稲刈りも受託していて、2022年は水稻250ha、WCS70haを収穫しました。大きな農機具を扱うことも多いので、事故がないように安全運転を心掛けています。

休日は、家族とゆったり過ごしたり、趣味のゴルフをしたりしてリフレッシュしています。

今後の目標は、規模を拡大し、従業員を増やすことです。ゆとりある農業を目指していきます。



①祖母と両親、妻、子ども2人の7人家族
②水稻500ha、麦1600ha

あか牛経営さらなる拡大へ

南阿蘇村

やまと 山戸 将大さん(24歳)



①妻と子ども2人の4人家族
②繁殖牛37頭、水稻20ha、WCS30ha、イタリアン100ha

東海大学熊本キャンパス応用動物科学科を卒業し、阿蘇市の狩尾牧場で1年半研修しました。その後、就農して2年目です。

就農後は、繁殖牛3頭の導入から始めました。当初の予定より早く導入が進められ、現在は37頭の母牛を飼養しています。子牛も13頭となり、やっと毎月の出荷ができる日途が立つてきました。

繁殖牛経営は、試行錯誤の連続です。休みも取れませんが、仲間との野球の試合や、ゴルフが息抜きになっています。また、仕事の合間に二人の子どもと接し、成長を見ることが明日への活力になっています。

今後は、祖父が飼育する繁殖牛なども受け継ぐ予定です。粗飼料の栽培面積を増やして経費を抑え、大好きな「あか牛」のさらなる規模拡大を目指していきます。

物科学科を卒業し、阿蘇市の狩尾牧場で1年半研修しました。その後、就農して2年目です。

就農後は、繁殖牛3頭の導入から始めました。当初の予定より早く導入が進められ、現在は37頭の母牛を飼養しています。子牛も13頭となり、やっと毎月の出荷ができる日途が立つてきました。

繁殖牛経営は、試行錯誤の連続です。休みも取れませんが、仲間との野球の試合や、ゴルフが息抜きになっています。また、仕事の合間に二人の子どもと接し、成長を見ることが明日への活力になっています。

技術向上し出生率UP

菊池市

あかほし 赤星 なほむ 奈誉さん(34歳)

両親が畜産農家で、小さいころからあとを継ぐことを決めていました。熊本県立農業大学校を卒業後、就農して14年目です。

大学校在学中に人工授精師免許を取得していました。実際に働いてみると受精卵移植する牛も多く、自分でやってみたいと思うようになりました。3年前に受精卵移植師の免許も取得しています。

今は繁殖の技術も向上し、受胎率、出生率も高く維持できています。良い牛を生産するため、常に畜舎を清潔に保ち、牛にストレスがからないように飼育しているので、セリで高評価されるとうれしいですね。

趣味は海釣りで県外へ赴くこともあります。なかなか時間も取れませんが、息抜きも大切にし、繁殖牛120頭と法人化を目指し、質の高い経営を目指していきます。



①両親と妻、子ども2人の6人家族
②繁殖牛110頭、子牛65頭

支所紹介パート4

◇支所長あいさつ



いつもお世話になつております。旧日本渡市出身の岡部純一です。現在、正職員17人

と臨時職員2人で業務を行つています。無保険者が一人でも少なくなるようチーム天草として日々頑張っていますので、ご不明な点がございましたらお気軽にお尋ねください。これからもよろしくお願いします。

◇天草の紹介

天草支所管内は、天草上島と天草下島および御所浦島などの島々で構成されており、人口は約10万7千人。現在、天草支所の目の前では、上島と下島を結ぶ新しい橋が建設されています。

農業は、藍く美しい海に囲まれた温暖な気候を生かし、早期水稻や花き、野菜、果樹、畜産など特色のある多彩な農畜産物が生産されています。

支所では明るい挨拶と整理整頓を心掛け、活気ある職場づくりを目指しています。また、農家さんへの庭先活動を活発に行っていますので、お伺いした際には、よろしくお願いいたします。

～総務課・収入保険課～

収入保険は新しい制度です。
お気軽にお声かけください！



(左から)川本哲矢、山下健一、岡部純二、宮崎浩司、唐田真歩

～農作・畑作・園芸施設係～

農家経営をお守りします！



(上段左から)古川春也、田口政志、田中李音
(下段左から)西村典人、前方裕一、中野寿子

チーム天草に
お任せください！

天草支所

このコーナーは、NOSAI熊本の10支所6出張所とその職員が、組合員さんに、より親しんでいただけるようにスタートしました。
4回目は、「天草支所」を紹介します。

～果樹・建物・農機具係～

農家の味方です！



(左から)高尾公宏、吉村望、長田玲子、那須瑛亮、佐々木理奈

～家畜係～

畜産経営の礎を目指します！

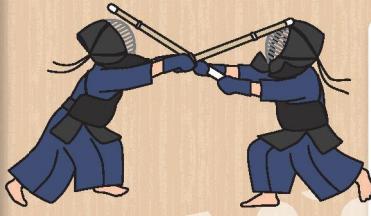


(左から)佐藤洸一郎、池田考輔、田中爾

わたしの家族



さかた けんと
(南阿蘇村) 阪田 健翔くん(9歳)



(後列右から) 父 母 健一さん (42歳)	(前列右から) 姉 妹 杏華ちゃん (11歳) 陽愛ちゃん (7歳)
わたし	

農業共済のニーズ調査について

地域農家の皆さまのニーズを把握するため、「畑作物共済」および「果樹共済」で、共済対象となっていない品目、または実施していない事業について、ご意見・ご要望を募集します。

『ご意見・ご要望の受付先』

熊本県農業共済組合 本所 企画広報課まで 受付期間：令和5年2月24日(金)まで

電 話：0964-25-3202 FAX：0964-25-3232

mail : honsho-kikaku@nosai-kumamoto.or.jp

畠作物共済

【現在実施している共済目的】

ばれいしょ、大豆、蚕繭

【現在実施していない共済目的】

小豆、いんげん、茶、そば、スイートコーン、たまねぎ、かぼちゃ、てん菜、サトウキビ、ホップ

果樹共済

【現在実施している共済目的】

なし、くり、うんしゅうみかん、なつみかん、指定かんきつ
(不知火、清見、河内晩柑、ぽんかん)

【現在実施していない共済目的】

いよかん、りんご、ぶどう、もも、おうとう、びわ、かき、うめ、すもも、キウイフルーツ

【現在実施していない事業】

果樹の樹体共済 … 樹体の損害を対象とする共済事業